

第5回 新見市地域審議会全体会 会議要旨

日 時 平成29年6月27日（火）
午後1時30分～午後2時35分
場 所 新見市役所南庁舎1階 会議室1A

委員総数：16名 出席者数：16名
傍聴者：1名

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 各部会における協議状況について

○文化・産業のまち部会

- ・今年度は、「農林水産業」と「文化・教育・生涯学習」の2つのテーマに取り組みようと考えている。
- ・昭和30年代までは、「黒いもの（牛、木炭、蒸気機関車）なら新見において。」というほど新見市には元気があった。
- ・A級グルメ（千屋牛、ピオーネ、キャビア）もあわせて、ブランド力の向上について話しており、生産者・JA・行政の3者が連携した機関の設置や、地元に残って、耕作放棄地で新しく農業をやろうという人に対する支援の充実や、他地域との差別化が重要であるという方向で話を進めている。

【質疑】

- ・JAの話として、大口の商談に対応できるだけの生産量がないと聞く。
- ・県内どこでも食べられないといけない。
- ・千屋牛で言えば、岡山天満屋でも一番高いクラスに陳列され、神戸宝塚の店舗でも人気は高い。食べられる所が多くあるといい。
- ・ピーチポークも、岡山の友人など非常に人気が高い。

○福祉・環境のまち部会

- ・去年は「福祉」分野の提言を行ったので、今年は「環境」分野に取り組みたい。
- ・テーマを「防災」とし、「自主防災組織」や「地震対策」などについて提言できるように進めていきたい。

【質疑】

- ・地元で防災訓練に取り組みようとしても、普段家にいる人が参加してもらえよう工夫が必要である。昼間に仕事で家にいない人が参加してもあまり意味がない。
- ・（自主防災組織の）組織率が7割というが、市民個々の意識が高いとは思えない。昭和47年の水害を思い出してみる必要がある。

(2) 第6期新見市地域審議会平成28年度提言に対する対応状況外

- 3月に提言をいただいた内容について、現時点での考え方や方針について記載している。引き続き、提言を参考としながら取り組んでいく。